

2014年11月6日

アメリカ合衆国大使館 気付
バラク・オバマ大統領 閣下

日本生活協同組合連合会

アメリカ合衆国における核性能実験の実施に抗議します

貴国が9～10月に、ニューメキシコ州サンディア国立研究所で、核兵器の性能を調べるために実施した2回の核実験は、核兵器廃絶を求める世界の世論に逆行するものです。また、他国に核開発推進の口実を与えるものでもあり、国際的に見ても許されることではありません。

10月20日に開催された国連総会第一委員会において、我が国を含む過去最大の155カ国が賛同した「核兵器の非人道性と不使用を訴える共同声明」が発表されるなど、核兵器の悲惨さに対する世界の認識が高まっています。このような世界的な機運の中で、核兵器の維持・向上を目指す実験をおこなうことは、厳しく批判されるものです。

私たちは唯一の被爆国にある生活協同組合の連合会として、被爆者の方々や全国の生協の仲間と共に、核兵器廃絶をすすめる取り組みを続けてきましたが、再三にわたる多くの人々の抗議の声を無視した貴国の行為は、断じて許すことはできません。

私たちは、貴国がこうした核実験をただちに中止し、被爆・終戦70年にあたる2015年に開催されるNPT（核兵器不拡散）再検討会議の成功に向け、1日も早い核兵器廃絶に向けて真摯に取り組まれることを強く求めます。